

ほんべつ 議会たより

No.107

2023年(令和5年)
11月15日発行



元気ハツラツ スポーツの秋

10月19日 陸上ミニ記録会(仙美里小学校)

発行/北海道本別町議会 編集/広報広聴常任委員会 北海道中川郡本別町北2丁目4番地1 TEL 0156-22-8123
FAX 0156-22-2147

議会のホームページでは定例会の会議録や活性化の取り組みなどを公表しています。

本別町議会

検索 

令和4年度 決算 審査

審議時間 **12時間14分**
168の質疑で
徹底審査

9月22日・25日・26日

一般会計総支出額
76億9,044万8千円

9会計総支出額
123億3,467万7千円



令和4年度の各会計決算審査は、特別委員会（議長と議会選出監査委員を除く10名で構成）に付託され、3日間にわたり質疑を行いました。

一般会計

歳出

移住・定住促進事業
193万4,800円

令和4年度の新規事業として、町内で正社員採用、または起業を目的に移住して、賃貸住宅に居住する人や就業体験する人に対して、家賃支援（月3万円）、引っ越し支援（上限20万円）、

仕事体験（5万円）の支援を行います。

問 事業実績と移住に結び付いた人数は。

答 家賃支援8人、引っ越し支援2人、仕事体験1人です。様々な支援策により16人が移住に結び付きました。

防災備蓄品
41万4,000円

問 町の備蓄の考えと白糠町との連携内容は。

答 1日分は家庭内備蓄をお願いし、商店などの流通在庫備蓄を1日、町での備蓄1日の合計3日分を計画しており、1日分はおおむね4千食としています。白糠町とは包括交流連携の中で、訓練等を通じ災害時の備蓄連携等も図っています。

地域おこし協力隊
1,717万7,753円

問 令和4年度の活動内容は。

答 本別公園や道の駅でイベントを開催し、町民とのふれあいや協力隊のPRを行いました。また、本別高校のとかち創生学の取り組みへの関わりについて、全道研修会で事例発表をしました。



輪なげのコツ伝授（ほんべつ丸ごと体験会 夏祭りver.）



普及促進を図るマイナンバーカード

マイナンバーカード普及促進

1,068万4,893円

カードの普及促進を目的として、国では最大2万円相当のポイント付与を行っていましたが、町ではさらに2千円分の商品券を配付して、普及促進を図ってきました。

問 マイナンバーカードの普及状況は。

答 令和4年4月1日時点の申請率は27.6%でしたが、令和5年3月末には76.9%まで上昇しました。この1年間で3,227人がカードの申請をされました。

出産祝い金贈呈

250万円

令和4年度からの新規事業として、お子さん一人につき10万円を現金で支給しています。

問 出産祝い金を贈呈した25人の内訳と、多子世帯への支援拡大について子ども・子育て会議での意見は。

答 第1子11人、第2子7人、第3子4人、第4子1人、第5子2人の合計25人です。会議の中では、子どもの人数に差をつけることなく平等に一律給付との意見がありました。

ストレスチェック

23万9,580円

問 高ストレス者の人数と、その後の対応は。

答 受検した職員362人のうち高ストレス判定者が67人いました。希望者には、医師への面談や相談窓口での悩み相談を実施しています。

居住支援協議会

112万3,902円

空き家の利活用などの推進に向け、居住支援協議会を組織しており、行政・社協・協力団体・建設業協会・金融協会・法律事務所の他、オブザーバーとして全国住宅産業協会・ゼンリンが参画しています。

問 令和4年度の相談件数などは。

答 空き家相談が13件あり、うち2件が売却に繋がりました。また、賃貸借が4件、老朽化した空き家の除却が3件ありました。

ごみ収集委託

5,390万1,641円

問 ごみ収集車の過積載の実態は。

答 日報等で3回確認されました。委託業者へは法令順守について指導しており、その後は改善されています。

循環バス運行

1,254万円

問 当初の見込みと利用実績は。

答 前年実績の8,687人を見込んでいましたが、利用人数は7,908人で当初見込みより779人少なかったです。



町民の足としての循環バス

町道補修
3,384万615円
(原材料費含む)

問 補修実績と未着工件数は。

答 令和3年度以前からの繰越分も含めると354件の依頼のうち、271件対応しました。残りの83件は経過観察しています。

ラウンベ牧場
800万円

問 牧場の概況は。

答 牧場の運営はJA本別町が行っており、総面積240ヘクタール、26牧区、受入可能頭数は650頭です。令和4年度は5月23日から10月21日までの放牧期間に、17戸537頭の育成牛の受け入れをしています。

地域農業支援事業
31万8,260円

問 当初予算に対して大幅な減額決算となっているが経過は。

答 若い農業従事者や女性農業者への免許取得費用の支援をしていますが、令和4年度は5人が作業免許を取得しました。コロナ禍の影響で研修等助成の不用額がありました。

トレーラー型シャワーハウス
149万4,900円

令和4年度から本別公園キャンプ場の駐車場横に男女各3室設置されており、100円で10分間、6月から10月までの期間利用できます。

問 利用実績は。

答 去年は7月から10月までの運用でしたが、1,252件の利用がありました。



キャンパーにも好評なシャワーハウス



模擬議会でまちづくりの提案（とがち創生学）

本別高校の教育を考える会
2,816万7,000円

問 本別高校にしかない取り組みは。

答 特筆すべき取り組みは、地域連携協力校の帯広柏葉高校との交流や夏期・冬期講習への参加、タブレット端末の無償貸与、とがち創生学の活動が評価されて文部科学大臣賞の受賞が挙げられます。

義経太鼓保存会
17万1,000円

問 催しや行事などへの出演回数は。

答 町内イベントや帯広市内のお祭りからの依頼などもあり、合計9回出演しています。

歳入

高齢者ハイヤーチケット
100万2,500円

問 利用実績は。

答 無償分は427人が申請され、無償分がなくなり有償分を購入した人は97人、401冊分となりました。購入後の利用率は90.9%で、未利用分は払い戻し対応をしています。

ふるさと納税
1億75万8,500円

問 寄付額から経費などを差し引いた金額は。

答 個人からの寄付額 9,825万8,500円
返礼品やポータルサイト等の経費 ▲4,656万5,472円
町民が他市町村へ寄付して町民税が控除される金額 ▲650万8,331円
※うち75%交付税措置 488万1,000円
差し引き **5,006万5,697円**

介護サービス事業特別会計

主治医の選択

問 老人ホーム入所時の主治医の選択についての取り決めは。

答 基本的には協力医療機関である町国保病院で可能か利用者や家族に確認しています。その中で、他の医療機関への希望にも対応しています。

病院事業会計



コンサルタントの導入で経営改善に期待

総括

令和4年度決算の評価

問 具体的取り組みと成果は。

答 ふるさと納税で企業版を開始して1億円突破、定住促進の新たな補助金を創設して11件利用、農業支援や物価高騰対策として全世界帯に商品券配布、出産祝い金贈呈などが挙げられます。

コンサルタント導入効果

問 得られた効果は。

答 コンサルタントのノウハウからの提案で、令和5年3月から診療報酬に救急医療管理加算を取り入れ、収益増に繋がっています。

賛成

討論

反対

高橋委員 介護・保健・医療・福祉従事者は献身的にコロナ対応してきた。物価高にも生活を守るため鋭意努力。

柏崎委員 物価や電気代高騰の中、他町村と比較しても手厚い支援。町民生活のため無駄のない決算と判断する。

一般会計

認定

梅村委員 継続事業が多く、目新しさや厳しい町財政、進む高齢化、人口減対策に具的効果を感じ取れない。

丑若委員 農業支援や除雪など農家を支える強い姿勢が欠けており、夢のある農業や新作物の展望が見えない。

宮本委員 教育現場でマスクの強要、それによりいじめが起きた。病院では適切な診療体制と認められない。

高橋委員 クラスタなどの問題もある中、できるだけ家族や入所者の要望を聞く努力はしていると思う。

柏崎委員 歳入歳出は間違いなく無駄な執行はないと判断し賛成する。

介護サービス

認定

梅村委員 特養の方針である一人一人のニーズ、利用者や家族などに寄り添った事業運営とは認められない。

宮本委員 コロナ禍であったが、入所者にだけ制限をかけ、家族を含め満足できる施設運営とは言えない。

宮本委員 彼の疾患を見逃す事例が多発。町民にとっても納得、満足のいく経営、効果的な支出と認められない。

病院事業会計

認定

藤田委員 内科、小児科外来は患者数増加。町民から接が良いとの声もあり、指摘を受け改善された成果だ。

梅村委員 約4・5億の繰り入れを行い町財政に負担を及ぼすが、見合った高い医療サービスが受けられない。

宮本委員 彼の疾患を見逃す事例が多発。町民にとっても納得、満足のいく経営、効果的な支出と認められない。

6人

3人

6人

3人

6人

3人

※採決時、委員1名欠席

町政を問う!

一般質問

6人の議員から9問

行政

**町民の命と健康を守るエアコン設置を
答 優先順位を付け設置に向けた検討をします**



藤田直美議員

藤田議員 記録的な猛暑が続き、年々気温が上昇することが予想されています。町民の命と健康を守る暑さ対策の取り組みについて伺います。①一般世帯も対象としたエアコン購入設置助成の考えは。②災害時には避難所となる体育館の他、中学校や職員室にもエアコン設置を。③図書館や公民館などは暑さで集えず、十分な目的が果たせない状況です。エアコンを設置し、避暑施設として開放するべきです。④食品を扱うゲンキキッチン調理場に、速やかにエアコンを設置するべきでは。



来年は中学校にもエアコン設置を予定

佐々木町長 ①道外自治体の事例や近隣市町村の動向を参考に、省エネ脱炭素を目的とした補助制度を活用する方法などを検討します。②③④教室や各施設の利用目的や利用状況、避難所指定の有無を考慮した上で優先順位を付け、設置に向けた検討をします。避暑施設としての開放についても所管する課全体で検討を進めます。

**町の各施設に計画的にエアコンの整備を
答 年次計画を立て、準備、整備をしていきます**



高橋利勝議員

高橋議員 記録的な暑さが続いていることから、町民の間に町の施設利用時にエアコンを使用できるように整備を求め声が強まっています。

また、職員も連日30度を超える室温の中で働いており、中には体調を崩された人もいると聞きました。職員の健康管理と仕事の能率の向上にもつながることからエアコンを整備し、職場の環境改善を図ることが必要だと思えます。

なお、整備に当たっては計画的に取り組むべきと思えますが考え方を伺います。

佐々木町長 今年は記録的な暑さとなったものと捉えています。また、空調設備の整っていない役場庁舎では室外よ

りも高温多湿になっていたことから、執務に当たっている職員の健康と作業効率の上からもエアコンの必要性は感じています。

町内の公共施設を1年で全てエアコンを設置することは財政的にも困難ですので、年次計画を立て、準備・整備をしたいと考えます。



執務中の暑さ対策も限界に

なぜ？公費で私道約350mの整備

答 今後しっかりと職員を指導徹底します



梅村智秀議員

と捉えて良いか、この私道整備の必要性、妥当性はないのでは。②予算が無いが常と句で、厳しい町財政の中で不当に支出された約50万円の公費は町長以下管理職で協議の上弁済することが必要です。

③こうした事案が発生した時、町民に報告し謝罪、改善策を示す姿勢が欠落しています。

梅村議員 上押帯北4線道路および延長の町道整備に際し、接道する町民所有の私道約350mも公費で整備がされた。①原因はこの工事に関する路線の確認を怠ったことである



適切な町道整備を

佐々木町長 私道350mのうち150mは町管理施設（河川、道路側溝）があるので従前より町が維持管理をしています。残り200mは誤認により整備をしてしまい49万2千円の費用を要しました。①確認をしていませんので当然怠ったと考えております。②必要性などはありません。②故意もしくは重大な過失までとは言えず、弁済は妥当ではないと判断しています。③町のトップであり責任の重さは痛感しており、今後しっかりと職員を指導徹底します。

予防的かつ計画的な道路修繕への転換について

答 基準を定め、今後DXも含めて調査、研究します



柏崎秀行議員

柏崎議員 修繕に係る費用の縮減を図りつつ道路の安全性、信頼性を確保していくことが必要だと考えます。①令和4年度に修繕を行った路線数、費用は。そのうち町民からの

苦情等により行った路線数、費用は。②路面の損傷レベル、重要性、交通量、地域特性等を考慮した管理基準を定め、優先順位を決定した道路維持管理計画の策定、公表を行うことで安心・安全・公平を維持することができると考えるが見解を伺います。③ドライブレコーダーを活用し路面情報を把握することができると自治体DXを活用、推進していくことが町道の維持管理向上に寄与すると思われるが見解を伺います。

佐々木町長 ①修繕箇所は260路線、費用5,584万2千円です。そのうち町民からの連絡では164路線、費用およそ3,000万円で修繕しています。②基準を定め、修繕の実施や優先順位の決定をより明確化することが必要と考えます。③今後DXを導入できるか調査、研究をします。



計画的な道路修繕を

暮らし

持続可能な自治会運営に支援を

答 未加入者らに対してのチラシ作成など協議、検討します



加藤徹己議員

加藤議員 自治会運営は、会員減少や役員の高齢化、担い手不足に加え、コロナ禍での



担い手不足で存続危機の自治会事業

活動の低迷などの課題を抱えています。会員の加入減少への支援、アパート入居者の加入促進、役員の高齢化・担い手不足への支援、町奨励金および交付金について、持続可能な自治会運営

への支援のために見直しをすることが必要と考えますが、見解を伺います。

佐々木町長

自治会は安心安全で住みやすい地域づくりを目指す活動と、町広報紙の配布や各種事業への参画など、

地方自治の一役を担っていただいております。また、親睦と地域課題解決を目的に自主的に組織された住民団体であり、自治会への加入は任意で、行政が個人やアパートオーナーに対して直接加入促進を図ることは困難と考えます。しかし、地方自治で自治会組織は不可欠です。転入者や未加入者に対して自治会活動や、その必要性を周知するチラシ等の作成など自治会連合会と協議し、有効な取り組みを検討してまいります。

除排雪の現状と高齢者等支援は

答 本町の実態を把握し、最善策を検討します



阿保静夫議員

阿保議員 町道の除雪区間は450・6km、480路線を定めています。

①農村部では地域の方々のトラクター等で除雪の協力をいただいておりますが、現状把握や情報交換が必要と考えますが見解を伺います。

②高齢者や障がい者世帯で自力の除雪が困難な世帯への除雪支援について、今後、対象件数の増加が考えられるが、対応の強化や除雪体制の維持についてどのように考えているか見解を伺います。

佐々木町長 ①除雪作業に従事している職員を通じ、現状把握や必要に応じ連絡をしています。

②令和4年度、市街地は委



町民が安心して暮らせる除雪体制を

託による手作業で45件をおおむね3人で、農村地区は直営による大型機械で34件を除雪している状況です。今後、高齢化の進行で支援対象件数の増加が見込まれ、手作業による労働力不足が危惧されますが、本町の実態を把握し、最善策を検討していきたいと考えます。



福祉

**さらなる認知症理解と脳トレ・脳活の推進を
答 意見を取り入れ参加しやすい活動
にしていきたいです**

梅村議員 8月より町内スーパー内で新たに**オレンジカフェ**を開設し、認知症の有無や年齢などを問わない方々が集い、脳トレや情報交換などを行っております。福祉で町づくり宣言を掲げる本町の取り組みとして発展できるようにすべきです。

①参加者より実費負担をい
ただいているが昨今
の物価高騰の中、高
齢者の負担とならな
いように予算措置を
行うべきです。

②認知症サポーター
の数が全道平均を大
きく上回っている
報道されたプラスの
要素はしっかりと周
知し、学生を含めた
若年層へも参加者や
協力者を募るべきで



気軽に参加できるオレンジカフェ

佐々木町長 ①実費相当の負
担をいただいてますが、利用
徴収の見直し
を検討したい
と考えてます。
②ホームペ
ージの掲載や
SNSの活用
も検討し、ご
意見を取り入
れながら参加
しやすい活動
にしていきたい
と考えてま
す。

す。ホームページやSNS、
無料通話アプリLINE(ラ
イン)等の活用をしたり、オ
ンライン開催の取り組みも必
要です。参加された方で進路
を福祉関係とする方が出てき
たら素晴らしいことです。



行政

**LINEアプリを利用して情報発信力の強化を
答 快適な町民の生活環境構築に向けて
導入を検討します**

藤田議員 住民ニーズに
られるようにLINEの公式
アカウントを利用している市
町村が増えていきます。ト
ーク機能を活用した相談業務に最
適であり、運用の仕方によつ
ては虐待や社会問題になつて
いるヤングケアラー、中高年
化している引きこもり相談な
ど利用可能ではないでしょ
うか。

また、子育てや住まい、ご
みに関する情報発信、各種申
し込みへの活用、緊急時の情
報共有など見込まれますが
見

解を伺います。

佐々木町長 LINEは国内
で利用数の最も多いSNSで、
いち早く届けたい情報をスマ
ートフォンなどの端末機に通知
できる機能を備えていること
から、LINE公式アカウント
を導入するメリットは大き
いものと捉えています。情報
発信を強化することで、より
便利で快適な町民の生活環境
構築に向けて、課題を解決し
ながら、LINE公式アカウ
ント導入を検討します。



多くの自治体で導入
LINE公式アカウント

オレンジカフェとは…

認知症カフェの呼び名で、認知症の当事者やその家族、介護や福祉の専門家、地域の方々など誰でも気軽に集え、過ごし方も自由です。認知症について知る、学ぶ、考えることができる地域とのつながりの場です。本別町では介護事業所と町内スーパー内で開催されています。



デジタル田園都市国家総合戦略に慎重な対応を

【答】デジタル技術をいかに活用するか検討します

阿保議員 本構想は自治体などが持つ膨大な個人情報データ等を民間に開放し企業の儲け先にしようとしているとの見解があります。

個人情報の保護規定やコンピュータシステムも統一、標準化していこうとするこのことです。

知事会や町村会などからは、地方の創意工夫を可能にすることや自治体の負担とならないようにすべきとの厳しい声があります。

これらを踏まえ、本町総合戦略の改定では独自の創意工夫を生かし、慎重な対応をしていくべきと考えますが、見解を伺います。

佐々木町長 地方においては地域が目指すべき理想像を再構築し、地方の総合戦略の改定に努めることとされています。

本町の新たな総合戦略では雇用、交流人口創出、結婚、出産、子育ての希望を叶えるなどの基本目標の実現に向け、デジタル技術をいかに活用するか検討していきます。



意見書

第3回定例会では意見書が5件提出され、原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、衆参議院議長、内閣総理大臣など関係機関へ送付しました。

【要旨掲載】

国土強靭化に資する社会資本整備等に関する意見書

激甚化・頻発化する自然災害に対する防災・減災等の取り組みが喫緊課題になるとともに、道路施設の老朽化等の安全対策、安定的な物流や広域周遊観光を支える道路整備が必要です。

よって、国においては、「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」をより一層推進するため、必要な予算・財源を確保するよう求めます。

提出者

藤田 直美

可決

地方財政の充実・強化に関する意見書

今、自治体には急激な少子高齢化に伴う、医療、介護など社会保障制度の整備、子育て、人口減少下における対策はもとより、コロナ対策、物価高騰対策が求められています。

よって、2024年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、的確に見積もり、地方財政の確立を目指すよう求めます。

提出者 高橋 利勝

【討論】

反対者：梅村議員・宮本議員

5類になったコロナはインフルと同様に各自治体が適切な対応とすべきで、これ以上の国費対応は不要。

賛成者：阿保議員

コロナ対策他10項目の要望が出され、全体を通じて地方財政の充実・強化を求めるのは妥当なこと。

採決の結果

賛成8人

反対3人

可決

写真で見る議員活動

8/17

議会広報研修会（札幌市）



8/30

議員との懇談会（学び働く議員会）



9/27

ゼロカーボン研修会（議員会）



10/31

総務常任委員会行政視察（厚真町）



教育の機会均等を担保するため、義務教育費国庫負担制度堅持と負担率1/2への還元、また、子どもたちへのきめ細かな教育を実現するため、早急に30人

義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への還元「30人以下学級」など、教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書

提出者
藤田 直美



ゼロカーボン実現のため、森林整備事業予算や防災・減災対策の推進に必要な治山事業予算を十分に確保し、森林資源の循環利用を促進するための優良種苗の安定供給、ICT等によるスマート林業の推進、道産木材の需要拡大、人材の育成確保などの支援を充実・強化、森林環境譲与税の譲与基準を見直すよう求めます。

ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

提出者
梅村 智秀



北海道の農業は本道の地域経済・社会を支える重要な位置づけにあります。ロシアのウクライナ侵攻等によって肥料、飼料、燃油などの生産資材価格、電気料金が急騰したが、国が措置した高騰対策は十分な対策となっており、地域経済を支える農業が今後も継続できるような価格上昇分が確実に補填される対策を求めます。

肥料、燃油などの生産資材等高騰対策の強化を求める意見書

提出者
方川 一郎



小学級を実現し、住む地域に関係なく教育を保障し、教材費など保護者負担の解消や就学援助制度等のさらなる拡大に向け、国の責任において予算確保を図るよう求めます。



第3回
定例会

産後ケア事業などの

補正予算等を可決

令和5年第3回定例会は9月5日に開会し、各会計補正予算などを審議しました。審議された内容は次のとおりです。

一般会計補正

協力隊の起業費補助

問

補助の内容は。



さまざまな分野で活躍している協力隊をサポート

答

地域おこし協力隊卒業後、本町の新たな担い手として町内で起業する者に対し、要綱に基づき補助金を交付します。

補助要件は地域おこし協力隊で、活動期間2年以上卒業後1年以内に起業する者に対し、100万円を上限に起業経費を補助します。

問

内容と目的、視察先地視察

特別養護老人ホーム先進地視察

答

ワーキンググループ等の方々や老人ホームや建築部局の職員等を実際に施設を見に行き、肌で

感じながら、今後の老人ホームについて検討を進めます。札幌市と函館市近郊の施設を予定しています。

老朽化している特養の建て替え等の在り方検討に向けて、10月19日から21日に札幌市内のサービス付き高齢者向け住宅や訪問介護等を併設した高齢者複合施設と、函館市内の居宅介護支援や就労継続支援B型などからなる多世代複合施設を視察しました。

産後ケア事業

問

内容と利用できる事業所は。

答

産後の心身の不調や育児の不安を抱える母子を対象にケアを行うもので、自宅に向く訪問型と施設へ行く施設型があります。訪問型は芽室町の事業所、施設型は帯広市の事業所であり、今回上士幌町にある事業所を追加しました。

重機借上

8月の降雨により、明渠排水路に土砂等が流入しふさがれたため、土砂上げを行います。

問

農地所有者から申し出のあった全ての農地の排水路復旧に対応できるのか。

答

連絡をいただいで職員が現地を確認し、流れが悪くなっている所に対応します。

令和6年1月1日からの人権擁護委員の候補者として

福家立雲氏 (朝日町)

の推薦を「適任」と答申しました。

第4回臨時会

第5回臨時会

令和5年10月21日から教育委員会委員になる

山根博和氏 (北8丁目)

の任命に「同意」しました。

第4回

臨時会

開催日8月8日

一般会計補正

営農資材高騰緊急対策

問

変更点は。

昨年度も同様の緊急対策がなされたが、

答

昨年と同様の1戸当たり5万円の定額給付と、新たに生乳生産を抑制されている酪農家への支援として、24カ月齢以上の



急がれる営農支援

乳用種1頭当たり2,800円を支給します。

第5回

臨時会

開催日10月25日

本別テレビ中継局放送機器更新工事請負契約

問

地上デジタル放送用送受信機を4台更新と1台新設するが、新設よつてどのようになるのか。

答

町内の一部地域で視聴できなかったテレビ北海道(TVH)が、町内全域で2年後に視聴可能になります。

令和5年度各会計補正予算

会計		(補正額) 補正後の額	主な内容
一般会計		(1億6,526万7千円) 75億3,603万7千円	電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金による事業実施経費の増 (臨時会) 各事業の実施見込みによる増額および決算に伴う精算金の計上 (定例会)
特別会計	国民健康保険	(1,596万4千円) 10億5,493万4千円	決算に伴う繰越金の確定および基金積立金の増額 (定例会) インフルエンザワクチン予防接種予算の調整による増 (臨時会)
	後期高齢者医療	(63万7千円) 1億5,361万9千円	決算に伴う繰越金の確定による増 (定例会)
	介護保険事業	(1億1,074万5千円) 11億6,595万5千円	決算に伴う精算による増 (定例会) 介護系システムのライセンス更新による増 (臨時会)
	介護サービス事業	(△7千円) 3億4,372万7千円	特別養護老人ホームにおける補助金交付額の確定による増および前年度繰越金の確定による減 (定例会)
	簡易水道	(53万8千円) 1億5,128万2千円	配水管等施設の修繕料の増 (定例会)
	公共下水道	(△24万4千円) 5億1,543万4千円	車両関係経費の減額 (定例会)
病院事業会計		(1,051万9千円) 13億7,135万4千円	電子カルテ用接続プリンタの購入および寄付金の受領による増 (定例会)

※第4回臨時会(8月8日開催)、第5回臨時会(10月25日開催)含む

議会用語の解説

《議会事務局》

地方自治法は議会事務局について、都道府県議会では必置とし、市町村議会では条例の定めるところにより、設置することができるとしています。本町議会では条例で定めており、現在4人(うち1人会計年度任用職員)の事務局職員が従事しています。

また、事務局職員の任免権は議長にあり、辞令は議長名で交付され、町長部局(総務課や農林課等)からの出向命令がなされています。

職務は議会に関する事務で、直接町民との折衝を持つことは少なく、議会を通じて住民へのサービスを行うことになり、議会や議員活動のいわば裏方としての仕事であり、ゆえに議会事務局は議会を補佐する機能を持つとされています。

議会開会中は、議事進行のサポートや発言者のマイク操作、議会中継業務などを行っています。

総務常任委員会

本別町の防災体制の現状と今後の計画について

7/27

1. 防災庁舎についての考え方

役場庁舎は、耐震化や非常発電設備等の設置を行っています。消防庁舎の移転に併せて備蓄庫を設置できるかなど様々な可能性を検討しています。

2. 情報伝達手段

- ・防災行政無線による放送
- ・屋外拡声器による放送
- ・広報車による呼びかけ
- ・各携帯会社によるエリアメール

今後、SNSでの発信やウェブ版ハザードマップの可能性について検討しています。

3. 備蓄体制と管理

町が行う公的備蓄を基本に、家庭内備蓄、地域内備蓄、事業所内備蓄、流通在庫備蓄の整備を推進します。

今年度中に備蓄品を分散管理し、新たな備

蓄庫の設置を検討しています。

まとめ

これまで実施できなかった避難訓練を実施し、町民が災害で起こりうる事態を知識として理解・習得していただくことが必要です。

備蓄においては、公的備蓄の他に、家庭内備蓄や流通在庫備蓄の推進が必要です。



産業厚生常任委員会

除雪対策について

8/8

1. 除排雪計画と周知

除排雪計画は、冬期間における生活道路の安全確保等を目的に毎年10月に作成し、11月15日号くらしの情報紙かけはしで、除雪後の問口前の雪の処理や路上駐車をしない等の協力依頼を含め、周知しています。

2. 除排雪出動の基準

除雪基準では、午前2時以前に原則10cm以上の降雪があった場合には午前2時に出動しています。また、わだち等への路面整正や滑りやすい路面への砂・薬剤散布を行っています。

運搬除雪は、状況に応じて実施しています。

雪捨て場は、本別市街地2か所、勇足・仙美里市街地に各1か所を指定しています。



まとめ

今後は、人口減少と高齢化の進行により、自助・共助による仕組みも担い手不足等で維持困難に至ることが想定されます。除排雪に関しては、冬期間の町民の命と暮らしを守る上でも、各関係機関との協力体制を強化し、取り組むことが望まれます。

7/12

1. 調査内容

両議会は議会基本条例に基づき、町民との懇談、外部評価を積極的に取り入れ、点検見直しを行っています。

芽室町議会では改善・新規活性化事項を掲げ、進捗工程表により達成度や現状把握、政策課題に反映しています。

浦幌町議会ではチーム議会として「まちなかカフェDE議会」などをスタートし、町民の声を広く聞き、なり手不足解消の一因とされています。

また、両議会ともにタブレット導入やSNSの活用なども先進的に取り組んでおり、現状における課題や展望について伺いました。

調査の結果

住民との対話や議会だよりの充実は今後も取り組むべきと考えます。タブレットの活用



も、議案や資料等の発送費削減や職員の労務負担軽減、議員活動の活性化が見込まれますが、全議員による意識醸成が必要です。議会改革を推進するためには、議員の資質、政策形成能力の向上を図ることが重要であり、より開かれ充実した議論ができる議会を目指していきます。

行政報告

第3回定例会（9月5日開催）において、町長から行政報告がありました。（抜粋）

デジタル田園都市国家構想総合戦略について

国では、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指すデジタル田園都市国家構想の実現に向け、昨年12月にこれまでの「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を新たに策定し、閣議決定されたところです。

こうしたことから、本町におきましても現在の「第2期本別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を、国の構想に沿った「本別町デジタル田園都市国家構想総合戦略」へと改訂することといたしました。

今後、本年度内での総合戦略の改訂を目指し、推進本部、推進委員会での検討を進めていきます。

議会日誌

〔 8 月 〕

- 1日～2日 北海道横断自動車道北見地区早期建設促進期成会夏季要望（東京都）
- 8日 第4回臨時会、産業厚生常任委員会所管事務調査
- 17日 全道議会広報研修会（札幌市）
- 29日 浦幌町議会視察来町
- 31日 十勝町村議会議長会議長・事務局長研修会（中札内村）



- 26日 各会計決算審査特別委員会

〔 10 月 〕

- 5日 広報広聴常任委員会
- 17日 議会運営委員会
- 19日～22日 企業訪問、本別高校同窓会東京支部 清流会 総会（東京都）
- 23日 広報広聴常任委員会
- 24日 産業厚生常任委員会所管事務調査
- 25日 第5回臨時会、議員協議会
- 29日～30日 札幌本別会総会（札幌市）
- 31日 総務常任委員会行政視察（厚真町）



〔 9 月 〕

- 1日 議会運営委員会
- 5日 定例会開会、議員協議会、産業厚生常任委員会
- 7日 議会運営委員会
- 12日 本会議（一般質問）
- 13日 議会運営委員会、本会議（議案審議・決算提案）
- 14日 本会議（決算提案）、広報広聴常任委員会
- 22日 各会計決算審査特別委員会
- 25日 各会計決算審査特別委員会



〔 11 月 〕

- 2日 広報広聴常任委員会
- 13日 十勝町村議会議長会議員研修（幕別町）



コーヒーぶれい



本間正義さん（柳町）

褒めて 人を活かすことも大切

今回は9月定例会の傍聴にお越しいただいた、柳町にお住まいの本間正義さんにお話を伺いました。
なんと！「コーヒーぶれい」には3度目の登場の本間さん、10年前に退職し、その後、長きに渡り柳町自治会長を務められ、今年からは町自治会連合会の会長の職に就かれました。

音響も改善され、議会中継もいいね



毎年、中央自治連の皆さま

んと共に傍聴にお越しただいておりますが、「一時期、議場での音響が聞こえづらかったけど、今はすこく聞きやすくなった」「議会議場が始まり、議場でもモニターがあつて見られるのがいい」とおっしゃっていただきました。
議場の音響については、2年前にマイクとスピーカーの改修を行い、昨年10月から議会中継を導入して、生中継と録画中継を視聴いただけるよう取り組みを進めてきました。

追求ばかりでなく、人を活かすことも大切



今回、議会の一般質問を傍聴いただきましたが、「そこまで追求する必要性があるの?」という疑問と「議員の発言により職員が萎縮してしまい、これからの仕事に支障が出てしまうのではないか」「悪い悪いと言ったら相手を潰すことになるので、たまには褒めて人を活かすことも大切」「職員の仕事の範囲が広がっているが、人員が不足している。きちんとした体制を整える必要があるのでは」「若い人を育て、次に繋ぐべき」と率直な思いを語ってくれました。

議員の活動については、町民の目に見えない部分があるから、「何もやっていない、働かないと言われがちだが、みんな一生懸命やっていると思う」と嬉しい言葉もいただきました。

読みやすくなった紙面



議会だよりについては、「紙面も工夫され、字も大きくなり、とても読みやす

くなつた」とお褒めの言葉をいただきました。
「予算の絡みもあるのかカラー刷りにこだわらない」との御意見もいただきましたが、これからも町民の皆さんに手に取って読んでもらえる議会だよりの作成を目指していきます。

まちづくりについてお聞きすると、町主催の会議の中でこれからの本別についてグループに分かれて討論したときに、まちなかカフェの話が出ていたが、そのことが実現していることは良いことであり、今後も自治連と町政の「ミニユーザー」を大切にしていきたいと語られました。

会議で出た意見が実現



また、他の病院と比べたとき、町国保病院の食事が美味しく、足りなくてお代わりしたくなったのを思い出したそうです。

趣味はゴルフだが...



趣味について何うと、長年ゴルフを続けているので、毎シーズン20回近くは

行っていたが、今年はまだ2、3回しか行けていないとの事でした。
終始笑顔で、良いことも悪いことも包み隠さず話してくれる、まさにアメとムチの本間さん。
多くの役職に就き多忙の中、インタビュにご協力いただきました。ありがとうございました。

次の定例会は
12月5日 開会
12日 一般質問を
予定しています

議会中継
QRコード

